

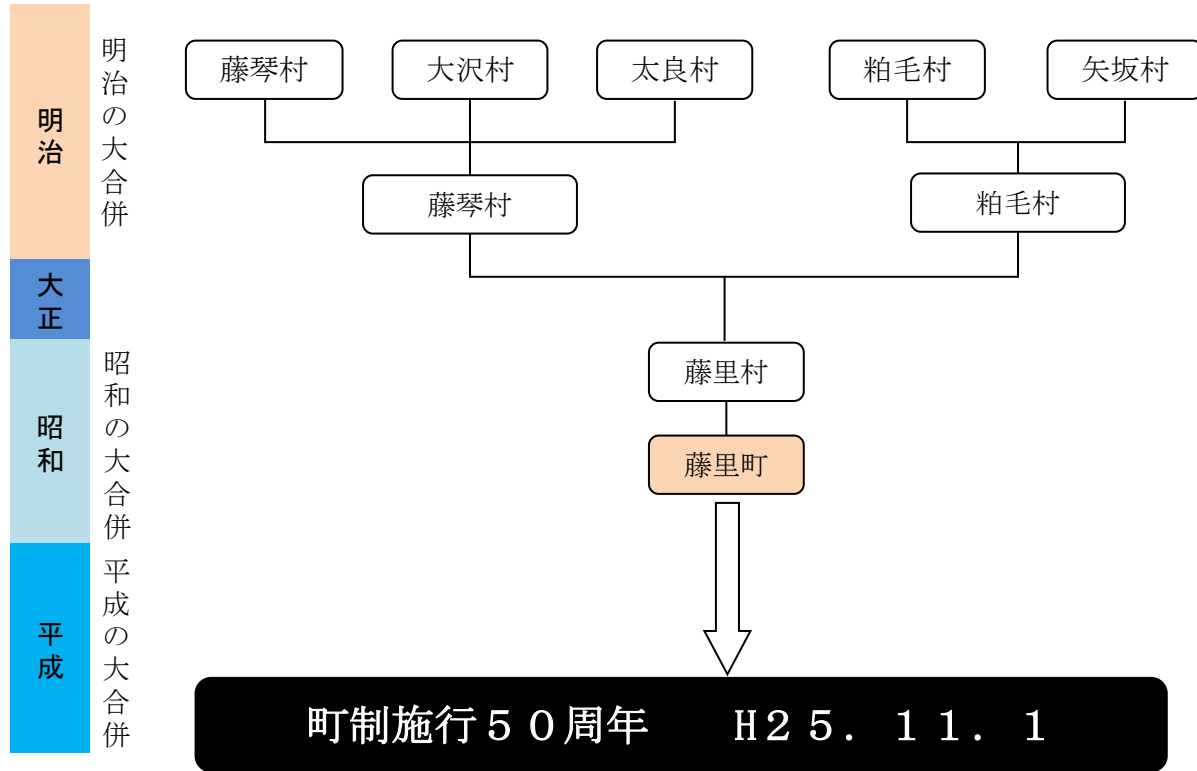
町制施行50周年記念



藤里町のあゆみ



藤里町の変遷



○町村合併

昭和28年9月10日の町村合併促進法の施行とともに、藤琴村、粕毛村は合併促進協議会を設け、将来の住民生活の向上を図るため両村合併の計画を策定した。

新村名については、藤琴村の「藤」と粕毛村の名勝地素波里の「里」を併せて「藤里」と決め、昭和30年3月31日藤里村が誕生した。

○町制施行

昭和38年7月、町となるための諸条件を満たした藤里村は、秋田県知事に申請、同年10月の県議会の議決を経て昭和38年11月1日に「藤里町」が誕生した。

○単独立町

合併特例法が制定され全国的に市町村合併が進む中、平成15年4月26日、藤里町は単独立町を選択した。

○町制施行50周年

平成25年11月1日、藤里町は町制施行50周年を迎える。

西暦 (年号)	月日	藤里町のできごと	秋田県の主な出来事と 藤里町の様子
4000年 ほど前		藤琴・粕毛に蝦夷が住む。山菜を採ったり、狩や漁をしたりして暮していた。	
2000～ 3000年 ほど前		竪穴式住居に住み、石器や土器を使っていた。一番古い石器土器は4千年くらい前のもので、院内岱で見つかった。	
1604			佐竹氏が秋田城(今の秋田市千秋公園)を作った。
1632		大洪水で大被害を受ける。	
1640		大暴風雨や霜害と干ばつにより大飢饉となった。	
1735		清水岱に杉の苗5千本が植えられる。	
1789		寺子屋が始まり、宝昌寺、自福寺、月宗寺の三寺で教育がなされる。	
1800		このころ湯の沢温泉が温泉場として認められる。	
1802		菅江真澄が藤里を訪れ、「しげきやまもと」としてまとめる。	
1810			男鹿寒風山が噴火し、大地震となる。
1868 慶応4年	8.27	戊辰戦争で大沢は戦場となった。町の一部は焼かれ大洪水で矢坂の被害が甚大となる。 藤琴、粕毛、米田、大沢に私塾ができた。	明治維新。戊辰戦争で秋田県も戦場に 八橋で石油が掘られるようになった。
1872 明治5年	12. 3	陰暦を廃止し、太陽暦を使うようになった。	
1873 明治6年	4.18	矢坂、大沢両村の境界論争が和解する。	秋田県初の公立小学校が設立される。
1874 明治7年	3.13	藤琴学校ができた。 粕毛に藤琴学校の分教室ができた。	遐邇新聞(秋田魁新報の前身)が創刊。 秋田郵便取扱所を開設。
	4.10	大沢に石田学校ができた。	
1875 明治8年	5.11	粕毛学校が自福寺にできた。	県庁に警察署を創設。
	7.	藤琴学校が藤琴に建てられた。生徒数37名。 米田に藤琴学校の分教室ができた。	
1876 明治9年	2.	石田学校が大沢小学校となった。	
1877 明治10年	8.12	藤琴学校の金沢分校ができた。生徒数27名。	第1回種子交換会(秋田県種苗交換会の前身)開催。(明治11年)
	8.30	藤琴学校の坊中分校ができた。生徒数23名。	
1879 明治12年		太良村が藤琴村に合併。	
1880 明治13年	5.	村長(戸長)が選ばれるようになった。	第1回県会議員選挙が行われる。 (明治12年)
	7.1	郵便局の仕事が始まった。	

西暦 (年号)	月日	藤里町のできごと	秋田県 の主な出来事と 藤里町の様子
1881 明治14年		太良に藤琴学校の分校ができた。生徒数74名。	
1885 明治18年	4. 8 7.28	洪水で、藤琴・矢坂に被害があった。 藤琴学校粕毛分校の校舎ができた。	
1889 明治22年	4.	<u>藤琴村と大沢村が合併して藤琴村となった。</u> <u>粕毛村と矢坂村が合併して粕毛村となった。</u>	秋田町が秋田市となった。 二ツ井駅ができた。(明治31年)
1903 明治36年		巡査駐在所の仕事が始まった。	
1904 明治37年	4. 7.	洪水があり、矢坂に被害があった。 奥小比内に坊中分校の分教室ができた。	県内の奥羽本線が全部開通した。 (明治38年)
1907 明治40年	5. 2 ～ 5. 5	小学校の勉強が4年から6年になった。 大洪水があり、被害が大きかった。	白瀬中尉が南極探検に成功した。 (明治43年)
1912 明治45年		金沢分校が真名子に移された。	
1919 大正8年		太良鉾山が休山となった。	
1919 大正8年		消防団が作られた。	
		バス・ハイヤーが走るようになった。	
1920 大正9年		第1回国勢調査が実施される。 (藤琴村4,487人、粕毛村2,310人)	
1921 大正10年	4. 1	大開に米田小学校の仮授業所ができた。	
1923 大正12年	11.30	太良の学校が終わった。	
		村に電灯がつくようになった。	
1925 大正14年		ラジオ放送がきけるようになった。	
1929 昭和4年		役場に電話が設置される。 藤琴営林署が荷上場営林署から分かれた。	 ←火消と 手押しポンプ  大開分校→ 県立能代中学校ができる。
			 ←電話交換室 の様子 NHK秋田放送局が開かれた。(昭和7年) 秋田市に電車が走るようになった。 (昭和7年)

西暦 (年号)	月日	藤里町のできごと	秋田県的主要出来事と 藤里町の様子
1934 昭和9年	4.12	大沢小学校が藤琴小学校の分校となった。	五能線が全部開通した。(昭和11年) 山本郡能代港町・東雲村・桝村が合併・市制施行し、能代市となる。(昭和15年) 長く続いた戦争が終わる。(昭和20年)  ←粕毛中学校 米田分校
1935 昭和10年		森林鉄道が太良まで開通した。	
		太良鉱山が再び開山、採鉱を始める。	
1946 昭和21年		公民館の工作が始まった。	
1947 昭和22年		藤琴中学校ができ、金沢に分校ができた。 粕毛中学校ができ、米田に分校ができた。	
1948 昭和23年		農業協同組合の工作が始まった。	
1951 昭和26年		大野岱に米田小学校の分校ができた。	
1952 昭和27年		名不知に藤琴小学校の分校ができた。	
1953 昭和28年		NHKテレビ放送が始まった。	
1955 昭和30年	1.24	大沢のけやき、田中の大イチョウが県の天然記念物になった。	
	3.31	<u>藤琴村と粕毛村が合併して藤里村となった。</u>	昭和10年頃の 藤琴村役場→  ↑ S20年代藤琴商店会中元大売出し抽選会  秋田県知事に小畑勇二郎氏が就任。 (S30.4)
	4.	藤里村議長に佐々木守一氏が就任。	
	5.30	藤里村初代村長に村岡一郎氏就任。	
	7.	収入役に佐々木節郎氏が就任。	
1956 昭和31年	4. 1	藤琴、粕毛両中学校を統合して「藤里中学校」となる。	
	4. 3	粕毛大火(住家7棟全焼)。	
	8.	藤里村長に市川修一郎氏就任。	
1957 昭和32年	11.15	金沢分校校舎全焼ほか住家4棟。	
1958 昭和33年	5.	藤里村長に高橋清氏が就任。	
	8.12	集中豪雨に見舞われる。(損害額17,650万円)	
	11.	大水害のため、太良鉱山は閉山になり、森林鉄道の仕事も終わった。	
1959 昭和34年	4. 1	金沢分校が独立し、金沢小学校となった。 藤里中学校金沢分校が独立し、金沢中学校となった。 金沢地区に集団赤痢発生。	 ↑ S33洪水で橋の一部が流され、 仮設された橋を渡る中学生達

西暦 (年号)	月 日	藤里町のできごと	秋田県の主な出来事と 藤里町の様子
1959 昭和34年	5.	藤里村議長に荒川隆二氏が就任。	 ↑ S35消防署員と藤里村で初めて購入した消防自動車 このころからテレビが家庭で見られるようになった。
	8.	湯の沢地区で住家5棟、非住家8棟が全焼する大火が発生。	
1960 昭和35年	5. 3	村岡小八郎氏が黄綬褒賞を受章。	
	8.	粕毛橋完成。(事業費89,000千円)	
	10.	消防ポンプ付自動車が初めて導入される。	
	10.	藤琴～金沢間が県道に編入される。	秋田国体が開かれた。
1961 昭和36年	10.	教育長に佐々木寒四郎氏が就任。	
	2.	4世帯24人が南米に移住。	
	3.31	太良鉱山の閉山に伴い太良分校が廃校になった。	
	4.	県から和牛生産重点地点に指定される。	
	4. 1	藤里中学校米田分校が独立し、米田中学校となった。	 ↑ S38水害により枕木ごとにはがれた森林鉄道
	5.23	上茶屋地区で住家15棟、非住家18棟が全焼する大火が発生。	
1962 昭和37年	4. 1	大沢分校が独立し、大沢小学校となった。 坊中分校が独立し、坊中小学校となった。	
	5.	藤里村長に高橋清氏が就任。(2期目)	
1963 昭和38年	3.30	粕毛下モ岱地区に初めての公営住宅20戸が建設される。(1戸31.4㎡ 6,650千円)	
	7.	町制施行の村議会の議決を経て村から町への申請を提出する。	 ↑ S38町制施行の祝賀町旗リレー
	7. 5	集中豪雨に見舞われる。 (2名の命奪う。被害総額14億9,115万円)	
	10.	役場庁舎が新しくなった。(事業費33,075千円)	
	11. 1	藤里村が藤里町になった。(町制施行) 藤里町の町章ができた。	
	12.11	秋田銀行の仕事が始まった。	
1964 昭和39年	4.	藤里町議長に市川茂芳氏が就任。	 ↑ S38町制施行祝賀式典で飾られた役場
	6.15	伊藤良治氏が紺綬褒賞を受章。	
	7.16	藤里峡が県立自然公園になった。 (県立きみまち坂・藤里峡自然公園)	
	10.	清水岱に畜産センター、大野岱に放牧場ができ、肉牛が多く飼われるようになった。	八郎潟が干拓され、大潟村ができた。 (S39.10)
	11.12	歴史民俗資料館保管の「鰐口」が県の重要文化財に指定された。	

西暦 (年号)	月日	藤里町のできごと	秋田県 の主な出来事と 藤里町の様子
1964 昭和39年	11.17	藤琴豊作踊り(志茂若、上若)が県の無形文化財に指定された。	
1965 昭和40年	5. 1	町立藤里幼稚園が開園。 (園舎は同年10月に完成 480㎡ 6,000千円)	
		大沢、米田、真名子に保育所が開設。	
	12.31	大開分校が素波里ダム建設に伴い全戸集団移転のため廃校となる。	
1966 昭和41年	5.	藤里町長に高橋清氏が就任。(3期目)	
	11. 1	学校給食センターが完成。(230.04㎡ 5,666千円)	
		坊中に保育所が開設。	
	11.16	国設くるみ台キャンプ場ができた。	
1967 昭和42年	6.	助役に藤田修一氏が就任。	
1968 昭和43年	4.29	川村福五郎氏が勲五等瑞宝章を受章。	
		藤里中学校と米田中学校が統合し藤里中学校となつ	
1969 昭和44年	11. 6	誘致工場「㈱サンニット工場」が矢坂で操業する。	秋田火力発電所ができた。
1970 昭和45年	3.31	藤里中学校に金沢中学校も統合した。	秋田駒ヶ岳が噴火した。
	5.	藤里町議長に荒川隆二氏が就任。	
	5.	藤里町長に高橋清氏が就任。(4期目)	
	6.	藤里中学校の校舎ができた。 (校舎 3,375㎡ 体育館 1,078㎡ 173,359 千円)	
	10.	県営素波里多目的ダムが完成する。	
		藤里営林署が完成する。(後に統廃合となり解体)	
		水無放牧場が完成する。	
	11.	県営素波里多目的ダムで発電所が営業を開始する。 (最大出力 6,300kw)	
	11.	荒川隆二氏が勲五等瑞宝章を受章。	
1971 昭和46年	4. 1	二ツ井・藤里の共同消防署ができた。	
	4. 1	誘致工場「青貞被服工業㈱」が操業する。	
	4.	清掃センターが完成し、運転を開始。	
	4.	藤里幼稚園で3歳児保育が実施された。	
	10.	二ツ井・藤里消防一部組合藤里分署が完成。	
1972 昭和47年	4. 1	藤琴小学校・粕毛小学校・大沢小学校が統合し藤里小学校となった。	
		名不知分校・大野岱分校が廃校になった。	



↑ 市日のにぎわい(琴町)



↑ S45藤里中学校校舎完成



↑ S46清掃センター完成

西暦 (年号)	月 日	藤里町のできごと	秋田県の主な出来事と 藤 里 町 の 様 子
1972 昭和47年	4.	藤里町議長に市川茂芳氏が就任。	洪水で二ツ井町・能代市の被害が大きかった。  ↑ S48総合開発センター完成
	4.29	八田与七氏が勲五等瑞宝章を受章。	
	7. 8	集中豪雨に見舞われ、藤琴、米田地区住民に避難命令が出される。(被害総額9億円)	
	10.9	教育長に市川八雄氏が就任。	
	10.	院内沢放牧場完成。	
	12.	湯の沢地区で温泉ボーリングに成功。(1号井戸)	
1973 昭和48年	8.	明治19年以来といわれる大干ばつに見舞われる。	石油ショックで物価が上がった。 記録的豪雪となる。(四八豪雪)  ↑ 藤里小学校新校舎完成
	8.31	奥小比内分校が廃校になった。	
	9.15	総合開発センターができた。 (RC 1,358.61㎡ 91,480千円)	
	11. 1	藤里町民歌制定。	
1974 昭和49年	2.	大豪雪に見舞われる。48豪雪として記録に残る。 (積雪216cm)	 ↑ S49町役場屋上から見た鳥谷場方面
	4. 1	藤里小学校の新校舎が鳥谷場に完成。 (4,927㎡ 275,146千円)	
	5.	藤里町長に高橋清氏が就任。(5期目)	
	7.14	農村総合整備モデル事業実施地区採択。	
	8.31	町村合併20周年記念で「藤里町誌」を発行する。	
1975 昭和50年	9.17	一般電話が自動化になる。	 ↑ S49町役場屋上から見る北側
	9.19	佐々木守一氏が勲五等双光旭日章を受章。	
	9.19	大沢地区コミュニティホーム完成。 (木造 256.71㎡ 12,565千円)	
	4.9	村岡一郎氏が勲四等旭日小綬章を受章。	
	4.29	市川春治氏が勲五等瑞宝章を受章。	
1976 昭和51年	7.	週1日の米飯給食がスタート。	 ↑ S51素波里猿ヶ瀬園地に 冒険コースができる
	8.	素波里園地に冒険コースができる。	
	11. 3	菊池久輔氏が勲五等瑞宝章を受章。	
	11.	第1回藤里峡観光写真コンクールを開催。	
	12.	異常低温、日照不足による40数年ぶりの大凶作となり、 水稻減収約1,800t。	
	12.21	米田地区生活改善センター完成。 (木造 198.74㎡ 9,903千円)	

西暦 (年号)	月日	藤里町のできごと	秋田県の主な出来事と 藤里町の様子
1977 昭和52年	4.	米飯給食が週1日から週3日になる。	能代港ができた。
	7.	助役に佐々木節郎氏が就任。	
	7.	収入役に菅原隆之介氏が就任。	
	8.	町営墓地公園が造成される。	
	10.30	藤中第二体育館完成。 (木造 380.78㎡ 11,809千円)	
	11.	民話集「藤里町の昔話」が発行される。	
1978 昭和53年	12.	町営住宅が完成。 (粕毛10戸、清水岱10戸 60,110千円)	能代火力発電所の計画が始まった。
	3.	歴史民俗資料館ができた。(RC 329.06㎡)	
	4.	広域藤里体育館が完成。 (鉄骨 1,919.5㎡ 182,461千円)	
	4.29	佐々木宇吉郎氏が勲五等瑞宝章を受章。	
	5.	藤里町長に高橋清氏が就任。(6期目) 奥地産業開発道路の拡幅改良工事着工。	
	9.12	町民憲章ができた。	
1979 昭和54年	11.	町営温泉保養所ができた。	↑ S53歴史民俗資料館完成
	12.	町営板清水スキー場を開設する。	
	4. 2	国から特別豪雪地帯に指定。	
	11.15	除雪機械車庫完成。(鉄骨407.15㎡ 30,965千円)	
	3.31	国民休養地に素波里が指定される。	
	4.	米飯給食が週3日から週4日になる。	
1980 昭和55年	5. 1	町営歯科診療所開業。	↑ S53町営板清水スキー場オープン
	9.18	環境庁より素波里一帯がふるさと自然公園に指定される。	
	10. 1	農村環境改善センターが完成。 (RC660.95㎡ 174,590千円)	
	11.1	文化講演会(講師:高木東六氏)	
	11.	高齢者コミュニティセンター「偕楽荘」完成。 (木造332.07㎡ 31,860千円)	
	11. 3	荒川武治郎氏が勲五等瑞宝章を受章。	
1981 昭和56年	12. 1	清水岱地区が特定地区公園(カントリーパーク)に指定。	秋田県知事に佐々木喜久治氏が就任。 (S54.4)
	3.	大町、荒町に流雪溝完成。	
	5.	素波里園地に全天候型テニスコート完成。(4面)	
	7.	素波里園地にキャンプ場完成。(固定式35張)	



↑ S53歴史民俗資料館完成



↑ S53町営板清水スキー場オープン



←町営歯科診療所開業



↑ 農村環境改善センター完成



↑ 偕楽荘完成

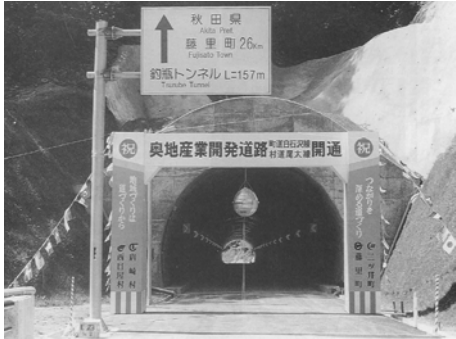
新秋田空港ができた。

西暦 (年号)	月日	藤里町のできごと	秋田県の主な出来事と 藤里町の様子
1981 昭和56年	8.	藤琴地区簡易水道完成。	
	11.1	文化講演会(講師:生井健夫氏)	
	11.13	林道北米代線開通。 (総延長18,970m 当町分 2,860m)	
	11.27	藤琴バイパス開通。 (L=1,368m W=10.0m 6.0m 612,128千円)	
1982 昭和57年	3.	湯の沢地区で2号井戸の温泉ボーリングに成功。	
	5.	藤里町長に高橋清氏が就任。(7期目)	
	11.1	文化講演会(講師:川原恵輔氏)	
	11. 3	佐々木忠之助氏が勲四等瑞宝章を受章。	
1983 昭和58年	3.31	金沢小学校が廃校になった。	
	4. 1	役場にて伝票会計システム・集中管理システム導入。	
	4.24	清水岱公園野球場がオープンした。	
	5.26	正午頃、日本海中部地震発生。 (震度5・M7. 7、被害総額約3億5千万円)	
	8.	藤里町議長に藤田修一氏が就任。	
	8. 9	藤里町長に市川茂芳氏が就任。	
	10.31	老人憩いの家「清流荘」完成。 (木造135.80㎡ 県単9,622千円)	
	11. 1	町制施行20周年記念写真集「藤里町」発行。	
	12.21	農水省モデル事業の大沢地区農村公園完成。 (2,239㎡ 13,000千円)	
1984 昭和59年	2.20	農協低温倉庫から米144俵盗難発覚。	
	3. 1	藤里町総合振興計画(基本構想)制定。	
	4.	「藤里町ふるさと会」発足。(会員161名)	
	4.27	素波里国民休養地にふるさと自然公園センターオープン。(RC平屋 60,000千円、展示 30,000千円)	
	4.28	桂田忠尚氏が藍綬褒賞を受章。	
	4.29	高橋清氏が勲四等瑞宝章を受章。	
	5. 1	誘致工場「㈱秋田オイルシール」操業開始。	
	10. 9	藤里名誉町民第1号に前町長高橋清氏が推挙される。	
	11.	文化講演会(講師:桂米丸氏)	
	11. 3	村岡靖一氏が勲五等双光旭日章を受章。	
	11.22	藤里幼稚園増改築工事竣工。	
	12. 4	十六貫トンネルが開通した。	

西暦 (年号)	月日	藤里町のできごと	秋田県の主な出来事と 藤里町の様子
1984 昭和59年	12.10	藤里幼稚園の園章、園歌を制定。	
	12.	藤琴地区農村公園完成。 (A=2,504㎡ 総事業費 15,239千円)	
	12.	冒険広場完成。 (32ポイント 3.2ha 総事業費 25,000千円)	↑ 冒険広場の遊具(太良の位碑岩) ↓ 冒険広場の遊具(七枚沢への道) 
	12.21	過疎地域振興計画(後期計画)議決。	
1985 昭和60年	4.	藤里町議長に市川博之氏が就任。	東北自動車道の秋田区間が開通した。 
	7. 1	助役に菅原隆之介氏、収入役に三谷徳男氏就任。	
	7.19	交通死亡事故ゼロ1,000日達成。	
	8.18	第1回全日本アユ釣り大会が藤琴川、粕毛川で開催。	
	11. 1	住民基本台帳システムが稼働。(役場)	
	11. 1	文化講演会(講師:後藤美代子氏)	
	11.12	振替納税推進の町を宣言。	
1986 昭和61年	11. 2	文化講演会(講師:福島幸雄氏)	↑ 能代山本では初の スキー場のロマンスリフト 
	11.11	猿ヶ瀬屋外ステージ完成。 (床面積 55.09㎡ 4,000千円)	
1987 昭和62年	3.26	第1回藤里町スポーツ文化栄誉賞授与式開催。	↑ チビッコに人気のバッテリーカー
	5. 2	第1回清水岱桜まつり開催。	
	8. 1	大野岱放牧場に緬羊(サフォーク種)畜舎が完成。 (木造2階建 A=448㎡ 33,000千円)	
	8. 9	藤里町長に市川茂芳氏が就任。(2期目)	
	10.30	藤里町営スキー場にロマンスリフト完成。	
	11.19	町営歯科診療所が新築される。	
	11.25	猿ヶ瀬コミュニティハウス完成。	
1988 昭和63年	12. 9	文化講演会(講師:浅利香津代氏)	
	1.10	町営スキー場オープン。(旧町営板清水スキー場)	
	1.30	町営スキー場スキーハウス完成。	
	2. 3	町営スキー場スキーハウス営業開始。	
	4. 1	精神薄弱者授産施設「虹のいえ」が矢坂にオープン。 (現在「障害者支援施設虹のいえ」)	
	4.	藤里町議長に淡路豊治郎氏が就任。	
	5. 1	地産ワイン作りにむけて山ぶどう作りに着手する。	
	7. 9	素波里園地にバッテリーカーコースオープン。	

西暦 (年号)	月日	藤里町のできごと	秋田県の主な出来事と 藤里町の様子
1988 昭和63年	9.23	サフォークの館がオープン。	 ↑ サフォークの館オープン
	10. 8	猿ヶ瀬休憩所オープン。(テニスコートシャワー室)	
	10.20	交通死亡事故ゼロ2, 186日でストップ	
	11. 1	町制施行25周年記念事業で町のシンボルを制定。 花:ふじ(藤) 木:ぶな 鳥:クマゲラ	
	11.10	大沢大ケヤキの水神様復元工事完成。(2,300千円)	
	11.14	緬羊畜舎、大野岱放牧場に完成。(987.92㎡)	
	11.15	川原町、下町に流雪溝完成。(63,000千円)	
	12.24	矢坂に歓迎広告塔完成。(1,277千円)	
	11.26	米田バイパス開通。	
1989 昭和64年	1. 7	天皇陛下崩御。	
1989 平成元年	1. 8	元号「平成」に決まる。	ミネソタ州立大学秋田校が秋田市雄和にできた。(現在の国際教養大学) 秋田市にアトリオンができた。 秋田内陸線全線開通。  清掃センター稼動 →  滝の沢地区温泉ボーリング成功
	3.15	文化講演会(講師:山田久志氏)	
	3.16	協同組合「秋田プレカット」仮操業開始。	
	3.24	二ツ井町・藤里町清掃センター竣工。	
	4.	原材料ぶどう栽培開始。8農家、2ha	
	4.	新しい清掃センター稼動開始。	
	4.	在宅福祉対策の一環としてデイサービス開始。	
	5. 8	緬羊飼育技術研修のため職員を派遣。	
	6. 4	舞茸栽培技術研修のため職員を派遣。	
	8.25	ハム・ソーセージ試験試作研究所竣工。	
	10.30	米田保育園新園舎完成。	
	10.31	滝の沢地区温泉ボーリング成功。	
	11.20	町全域航空カラー写真完成。 (ふるさと創生事業 5,871千円)	
		藤里ジュニアスキー大会が町営スキー場で行われる。 (平成25年で、開催25回目)	
1990 平成2年	2.21	突山橋完成。	 ↑ 白神山地マイタケ収穫開始
	2.26	ふるさと産業開発センター竣工。(まいたけセンター) (鉄骨平屋建 A= 720㎡ 事業費124,558千円)	
	3.20	文化講演会(講師:中村敦夫氏)	
	3.29	白神山地が森林生態系保護地域に指定される。	
	4. 1	助役に三谷徳男氏、収入役に明石進氏が就任。	

西暦 (年号)	月日	藤里町のできごと	秋田県の主な出来事と 藤里町の様子
1990 平成2年	5. 2	白神山地マイタケ初出荷。	 ↑ 地上8mの空中散歩  ↑ 老人福祉の拠点、特養ホーム「藤里」  ↑ 釣瓶トンネル貫通  白神山地ワインの 販売を開始→
	6.	学校給食に町特産品(羊肉・マイタケ・アスパラ)メニュー初登場。	
	7. 3	歩行者天国に白神鉄道登場。	
	7.17	素波里園地にスカイサイクル竣工。	
	10. 9	菅江真澄歌碑を5ヶ所に建立。	
	11. 1	寺沢橋開通。	
	11. 3	白神山地ワイン発表会。	
	11.	村岡トメ氏が勲七等瑞宝章を受章。	
	1.18	藤里町商工会創立30周年記念式典開催。	
	3.24	文化講演会(講師:青島幸男氏)	
1991 平成3年	3.29	農業近代化共同利用施設完成。 (事業費 96,000千円)	 ↑ 釣瓶トンネル貫通  白神山地ワインの 販売を開始→
	4. 1	特別養護老人ホーム「藤里」開所。	
	4.13	土曜閉庁方式四週六休制実施。	
	6.23	大関「能代潟」顕彰碑除幕式・祝賀会開催。	
	7.30	健康保養館建設工事着工。	
	7.30	藤里町を紹介するビデオ「白神山地の里-そんじょそこの自然じゃない-」とマンガ「なぞの少女をさがせ(躍進するぼくらの藤里町)」が発行された。	
	7.31	奥産道釣瓶トンネル貫通。	
	8. 9	藤里町長に市川茂芳氏が就任。(3期目)	
	9.28	台風19号の暴風により大きな被害となった。 被害総額約4億6千万円。	
	11. 9	白神山地ワインの販売を開始する。	
1992 平成4年	12. 6	株式会社「藤里開発公社」設立。 石井露月の句碑が素波里に建立。	 白神山地ワインの 販売を開始→ 農協の呼称が「JA」に。  ↑ 木造室内グラウンドの土床体育館完成
	3.10	藤里町農協水稻育苗施設が完成。	
	3.17	商店街活性化助成事業で街路灯(30基)、コミュニティハウスを設置。	
	3.22	文化講演会(講師:矢口高雄氏)	
	3.25	林業者等健康増進施設「土床体育館」完成。	
	3.	藤里町議長に市川博之氏が就任。	
	4.29	斉藤栄一氏が勲五等瑞宝章を受章。	
	6.19	日本自然保護協会が白神山地を世界遺産に推薦。	

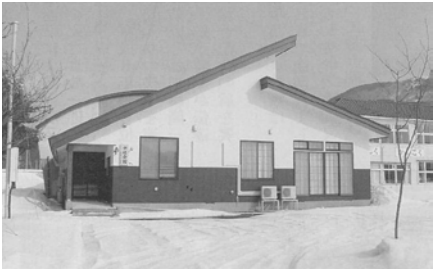
西暦 (年号)	月 日	藤里町のできごと	秋田県の主な出来事と 藤 里 町 の 様 子
1992 平成4年	7.10	白神山地が国の自然環境保全地域に指定される。 藤里町:4,344 ha	 ↑ 健康保養館「ゆとりあ藤里」オープン
	8. 1	健康保養館がオープン。	
	10.1	外務省がユネスコ世界遺産委員会に白神山地を推薦する。	
1993 平成5年	10.3	教育長に加藤友一氏が就任。	能代火力発電所が完成した。
	3.25	峨瀦峡親水公園が整備された。	
	4.	土曜日を休みとする完全週休二日制を実施。	
	4.12	国際自然保護連盟が白神山地の世界遺産のための現地調査をする。	
	4.29	淡路豊治郎氏が勲五等双光旭日章を受章。	
1994 平成6年	5.22	素波里湖畔に「大開の郷」石碑建立。	 ↑ 白神山地が世界遺産に登録 世界遺産に登録されている16,971haのうち、4,344haは藤里町の登録区域
	7. 1	藤里共同福祉施設「サンワーク藤里」オープン。	
	9. 2	マイタケ培養施設が完成。	
	12.11	白神山地が東アジア最大のブナ原生林として、屋久島、法隆寺、姫路城と共に日本初の世界遺産に登録される。	 ↑ 白神山地音楽祭を開催し観客約3,000人
	3.17	文化講演会(講師:フランキー堺氏)	
	3.25	農畜産物処理加工施設が完成。	
	4.19	白神和牛肥育実証センターが完成。	
	4.22	中通地区の藤琴川が国の「桜づつみモデル事業」に認定される。	
	4.24	白神山地世界遺産条約登録記念講演会開催。	 ↑ 工事着工から21年で開通 (奥地産業開発道路)
	5.27	藤里町森林組合総会で広域合併を決議。	
	7.15	町制施行30周年 、健康保養基地「ホテルゆとりあ藤里」の竣工、白神山地世界遺産登録を記念して記念式典開催。	
	7.16	素波里にて第1回白神山地音楽祭開催。 ゲスト:南こうせつ	
	7.18	第1回白神山地寄席(出演者:柳家小三治、柳家九治)	
	7.28	奥地産業開発道路の釣瓶トンネルが開通。	
	7.23	全国駒ヶ岳サミットと白神山地世界遺産条約登録記念大会開催。	
	9.29	第1回映画と講演の夕べ(講師:松山善三氏)	
	10.21	藤里営林署を廃止し、藤里森林センターとする方針を発表。	
	11.30	交通死亡事故ゼロ1,000日達成。	
	12.15	朝日ヶ丘団地に町営住宅8戸完成。	

西暦 (年号)	月日	藤里町のできごと	秋田県の主な出来事と 藤里町の様子
1995 平成7年	2.20	秋田県町村会の「優良町村表彰」受賞。	 ↑ 観光物産館オープン
	3.	地域食材供給施設「観光物産館」がオープン。	
	5.	藤里町「歩く体験博物館ガイドブック」(動物編、植物編、地形・地質編の3編)を刊行する。	
	8. 9	藤里町長に石岡鍊一郎氏が就任。	
	8.12	第2回白神山地音楽祭開催。ゲスト:加山雄三	
	10.13	第2回白神山地寄席(出演者:柳家小三治、柳家九治)	
	10.28	第2回映画と講演の夕べ(講師:浜田光夫氏)	
	12.15	助役に田中正保氏、収入役に斎藤ヨネ氏が就任。	
	12.16	新斎場「風華苑」完成。	
			 ↑ 第2回白神山地音楽祭も大成功
1996 平成8年	1.11	「白神山地」世界遺産一覧表記認定書(レプリカ)贈呈。	 ↑ 通園バスの運行開始
	1.27	世界遺産白神山地の保全と活用「町民シンポジウム」開催。	
	2. 1	新斎場「風華苑」供用開始。	
	2. 6	健康保養館が厚生省健康増進施設に認定。	
	3.27	学校給食による食中毒発生。(サルモネラ菌)	
	3.31	坊中保育園が閉鎖。(藤里幼稚園と統合)	
	4.13	交通死亡事故ゼロ1, 500日達成。	
	4.28	市川茂芳氏が勲四等旭日小綬章を受章。 滝川幸子氏が勲六等宝冠章を受章。	
		藤里幼稚園で預かり保育の実施と通園バスの運行が始まる。	
	4.	藤里町議長に小森正雄氏が就任。	
	6. 1	旧坊中保育園にて三歳未満児保育スタート。	
	7. 1	三世代交流館施設オープン。図書室の利用が始まる。	
	8.12	第3回白神山地音楽祭開催。ゲスト:財津和夫	
	10.12	第3回白神山地寄席(出演者:柳家小三治)	
	10.26	第3回映画と講演の夕べ(講師:神山征二郎)	
			 ↑ 三世代交流館オープン
			秋田新幹線「こまち」が開業した。(H9.3) 秋田県知事に寺田典城氏が就任。 (H9.4)
1997 平成9年	3.19	役場庁舎(書庫)増築工事竣工。	 ↑ 白神山地音楽祭フィナーレの様子
	4.	淡路六郎氏に勲五等瑞宝章を受章。	
	5. 6	アメリカのティーツクリーク高校とバスケット国際交流。	
	5.22	白神山地世界遺産センター講演会開催。	
	6.16	地籍調査一筆地調査を矢坂地区から開始。	
	7.26	第4回白神山地音楽祭開催。ゲスト:チューリップ	

西暦 (年号)	月日	藤里町のできごと	秋田県の主な出来事と 藤里町の様子
1997 平成9年	8.26	交通死亡事故ゼロ2,000日達成。	 ↑ 藤里町立坊中小学校創立120周年
	8.26	第4回白神山地寄席(出演者:柳家小三治)	
	8.	藤里町下水処理施設整備計画を策定。	
	9.	町営スキー場運営を(株)藤里開発公社へ委託。	
	11.7	文化講演会(講師:丘みつ子氏)	
	11.23	藤里町立坊中小学校創立120周年。	
1998 平成10年	1.18	健康保養館の入館者50万人達成。	大館能代空港が開港した。  ↑ 白神山地世界遺産センターオープン
	2.24	藤里町ホームページ開設。	
	4.1	情報公開制度開始。(役場)	
	4.29	藤本辰雄氏が勲五等瑞宝章を受章。	
	5.16	敬老式で「長寿祝い金」を利用券として配布。	
	7.11	第5回白神山地音楽祭開催。 ゲスト:南こうせつ・伊勢正三・山本潤子	
	10.15	白神山地世界遺産センター「藤里館」オープン。	
	10.16	巨木を語ろう全国フォーラム開催。	
	11.6	第5回白神山地寄席 (出演者:柳家小三治、横目屋助平)	
	11.18	町文化講演会(講師:ガッツ石松氏)	
1999 平成11年	1.6	藤里小学校女子ミニバス部が全県大会で準優勝し、東北大会出場、最優秀賞に輝く。	秋田県立大学が開校される。 秋田港に定期フェリー便就航。  ↑ 地域振興券を交付
	1.8	交通死亡事故ゼロ2,500日達成。	
	3.1	国の地域振興券が交付される。	
	3.29	清水岱公園野球場改修工事竣工。	
	7.4	藤里町体育協会30周年を迎え記念式典を開催。	
	8.7	第6回白神山地音楽祭開催。 ゲスト:柳ジョージ・渡辺真知子	
	8.9	藤里町長に石岡錬一郎氏が就任。(2期目)	
	9.22	第6回白神山地寄席(出演者:柳家小三治、柳家九治)	
	9.26	台風18号の影響により400年ブナから22mの枝が落ちる。	
	10.28	秋田県社会福祉大会において、藤里中学校と藤里ボランティア(村岡満会長)が県知事賞受章。	
	10.28	台風19号の影響により田中の大イチョウの大枝が折れる。	
	10.28	文化講演会(講師:稲川淳二氏)	

西暦 (年号)	月日	藤里町のできごと	秋田県の主な出来事と 藤里町の様子
1999 平成11年	11. 3	市川博之氏が勲五等双光旭日章を受章。 山下次男氏が勲五等瑞宝章を受章。	 ↑ H12藤里保育園が完成
2000 平成12年	12.31	2000年問題対策室設置されるが、問題はなかった。	
	2.22	豪雪対策本部設置される。	 ↑ 坊中小学校閉校で建立された記念碑
	2.	藤里保育園が完成。	
	3.19	坊中小学校閉校式。(122年)	 ↑ 世界遺産会議に参加した小中学生たち
	3.31	大沢保育園が閉鎖。(藤里幼稚園と統合)	
	4.	総合福祉センターが完成。	 ↑ 白神山地音楽祭 北島三郎さんと実行委員会メンバー
	4.	藤里保育園が開園。	
	4.	介護保険制度がスタート。	
	4.	指定ゴミ袋を導入。	
	4.	「藤里町環境基本計画」策定。	
	4.	藤里町議長に桂田忠雄氏が就任。	
	4. 1	携帯電話用の電波中継鉄塔がサービスを開始。	
	4.29	藤原チエ氏が勲六等宝冠章を受章。	
	5.18	屋久島、鹿児島市を会場に「世界遺産会議」が開催され、藤里町から小中学生が6人参加。	
	5.21	在京藤里会50周年記念大会を開催。	
	5.22	交通死亡事故ゼロ3, 000日達成。	
	7.20	藤里町芸術文化協会30周年記念式典・祝賀会開催。	
	7.	藤里中学校全運動部全県大会出場(野球・卓球・テニス・バレーボール)	
	7.29	第7回白神山地音楽祭開催。ゲスト:北島三郎	
2001 平成13年	10. 2	二ツ井藤里地区消防藤里分署に初めて救急車両が導入。	
	10. 3	教育長に古川弘昭氏が就任。	
	10.18	交通死亡事故ゼロ3, 149日でストップ。	
	10.22	文化講演会(講師:津川雅彦氏)	
	11. 4	岳岱自然観察教育林そばの杉造林地にブナ植林。(藤中生)	
	11.10	第7回白神山地寄席(出演者:柳家小三治、柳家二三)	
	12.	矢坂に「婦人・若者等活動促進施設」完成。(276.21㎡ 51,750千円)	
	2.15	飲酒運転追放競争5年連続ベスト10入りをし、優良市町村表彰。	

西暦 (年号)	月日	藤里町のできごと	秋田県の主な出来事と 藤里町の様子
2001 平成13年	2.20	毎日新聞社主催の「毎日自治大臣賞」において、当町の「白神山地音楽祭」が奨励賞に選ばれる。	 ↑ 藤里町の食をピアール  ↑ 完成した坊中橋の渡り初め
	3.22	NHK東北ふるさと賞を斎藤栄作美氏が受賞。	
	4.	放課後児童健全育成事業「学童保育」が藤里小学校校舎でスタート。	
	4.25	農林水産物直売・食材供給施設「白神街道ふじさと」オープン。	
	5.19	藤里町商工会創立40周年記念式典を開催。	
	6. 1	藤琴市日が琴町地区から三世代交流館駐車場へ移転。	
	6.18	淡路竹蔵氏が総務大臣表彰(行政相談委員)を受賞。	
	7.	能代山本地域市町村合併に関する勉強会発足。	
	9.19	第8回白神山地寄席 (出演者:柳家小三治、柳家三之助)	
	10. 7	「世界遺産白神山地憲章」を制定。	
	10.11	文化講演会(講師:長門裕之氏)	
	10.16	日本一(完成時)の木造橋「坊中橋」が完成。	
	11.16	藤里中学校PTAが文部科学大臣賞受賞。	
	12.21	東北森林管理局「藤里森林センター」完成。	
	12.26	藤琴郵便局と「不法投棄に関する情報提供業務契約」を取り交わす。	
2002 平成14年	2.21	飲酒運転追放競争6年連続ベスト10入りをし、優良市町村表彰。(9回目、6年連続ベストテン入り)	秋田自動車道が能代まで開通する。  ↑ 知事を招いての「市町村合併トークin藤里」  ↑ 無人ヘリで農薬散布
	3.	清掃センター(ゴミ焼却場)が閉鎖。	
	4. 1	二ツ井町藤里町衛生事業処理一部事務組合と二ツ井町藤里町消防一部事務組合を統合し「二ツ井藤里地区行政組合」を発足。	
	4. 4	藤里町庁舎内市町村合併に関する勉強会設置。	
	4.19	秋田県主催「市町村合併トークin藤里」を開催。	
	4.23	放課後児童健全育成事業「学童保育」が旧森林センターに移転。	
	5.22	細田藤左エ門氏、村岡信和氏が全国人権擁護委員連合会長表彰受賞。	
	5.24	「藤里町ふるさと会」産直あさひ会に業務移管。	
	7.	初の無人ヘリによる農薬散布。	
	8.	住民基本台帳ネットワークシステム一次稼動。(役場)	
	9.11	第9回白神山地寄席(出演者:柳家小三治、柳亭燕路)	
	9.27	文化講演会(講師:安部譲二氏)	

西暦 (年号)	月日	藤里町のできごと	秋田県の主な出来事と 藤里町の様子
2002 平成14年	9.	住民保存版パンフレット「白神山地を守り伝えよう…藤里町の下水道」配布。	 ↑ 豊かな心育むブックスタート事業開始
	11. 2	市町村合併に関する町民意識調査(アンケート)を実施。調査対象者数:3,820人、回収率:71.6%	
	11. 7	「藤里町ブックスタート事業」実施。	
	12. 1	中通地区農業集落排水事業処理施設供用開始。	
	12.	中通会館が完成。(127.52㎡ 23,260千円)	
2003 平成15年	1.29	飲酒運転追放競争7年連続ベスト10入りをし、優良市町村表彰。(10回目)	 ↑ 中通会館完成
	2.20	第1回能代山本地域市町村合併任意協議会開催。	
	3. 1	特定環境保全公共下水道供用開始。	 ↑ ばんぶ〜ひろば開設でお友だちいっぱい
	4.	藤里町子育て支援センター「ばんぶ〜ひろば」開設。	
	4. 1	藤里保育園ホームページ開設。	
	4. 1	3・4年生用社会科副読本「わたしたちの藤里町」発行。	
	4.26	議会全員協議会で石岡町長が「単独立町」を表明。	 ↑ 「単独立町」に関する住民説明会で説明に耳を傾ける住民の皆さん
	4.29	菅原隆之介氏が勲五等瑞宝章を受章。	
	6. 7	秋田自然を守る友の会創立30周年記念祝賀会開催。	
	6. 9	第2回能代山本地域市町村合併任意協議会開催。(協議会解散)	
	7. 7	「単独立町」に関する住民説明会開催。	 ↑ 白神山水の館完成
	7.	「藤里町庁舎内市町村合併に関する勉強会」を「藤里町単独立町に関する勉強会」に名称変更。	
	8.25	住民基本台帳ネットワークシステム二次稼動。住民票の写しの広域交付と住民基本台帳カードの交付。	
	9. 5	町下水道事業が「第12回いきいき下水道賞下水道普及啓発部門国土交通大臣賞」受賞。	
	8. 9	藤里町長に石岡鍊一郎氏が就任。(3期目)	
	9.12	地域資源活用起業化施設「白神山水の館」竣工式。(1,398.80㎡ 750,430千円)	
	9.29	9月定例議会にて「議員定数条例改正案」可決。現行の16人から12人に削減。	
	10.	保育園、幼稚園、小学校のホームページ開設。	
	10. 2	農産物異常気象対策本部設置。	
	10.4	第10回白神山地寄席(出演者:柳家はん治、柳亭燕路、	
	11. 1	素波里が鳥獣保護区に指定される。	

西暦 (年号)	月日	藤里町のできごと	秋田県の主な出来事と 藤里町の様子
2003 平成15年	12. 8	文化講演会(講師:ジェームス三木氏)	能代市・山本郡内の市町村合併が行われた。  ↑ 藤里町生活支援ハウス「ぶなっち」完成  ↑ エコツーリズムを探るパネルディスカッション
2004 平成16年	12.	岳岱自然観察教育林400年ブナまでバリアフリー化。	
	2.	誘致工場「㈱サンニット」が閉鎖される。	
	3. 1	国指定白神山地鳥獣保護区指定。	
	3.24	有限会社藤里白神ファーマーズ設立。	
	3.	藤里町総合振興計画(基本構想)策定。 「緑と魅力あふれる町・ふじさと」	
	3.	助役に村岡實氏が就任。	
	3.30	山本地域振興局に「単独立町まちづくり計画」を提出。 (全世帯配布)	
	4. 1	特定環境保全公共下水道の使用区域拡大。	
	4. 1	藤里町生活支援ハウス「ぶなっち」完成。(590㎡)	
	4.	自殺予防パンフレット「藤里物語Ⅱ(私たち中学生からの 町づくり提案)」作成。	
	4.	藤里町議長に田代孝彦氏が就任。	
	4.29	畠山俊策氏が学校保健功労で瑞宝双光章を受章。	
	5.21	交通死亡事故ゼロ1,000日達成。	
	5.29	宿泊型自然体験施設「白神ぶなっこ教室」開校。	
	6. 2	環境省エコツーリズム推進モデル事業に指定。 白神地区:藤里町・青森県西目屋村共同。 森林基幹道米代線開設工事素波里トンネル貫通式。	
	6.26	第17回全国菅江真澄研究集会が、ホテルゆとりあ藤里 で開催される。(～27日)	
	8.	岳岱・くるみ台に設置の募金箱の鍵が壊され盗難被害。 (3ヵ所:被害額約1万円)	
	9.	誘致工場「㈱秋田オイルシール」藤里工場閉鎖。	
	10.13	山本地域振興局長より「藤里町単独立町まちづくり計 画」に対する検討結果が報告される。『町単独で行政運 営していくことが可能』	
	11. 6	環境省エコツーリズム推進モデル事業「白神地区キック オフシンポジウム」開催。	
	11.10	加茂谷長市氏が警察功労・瑞宝単光章を受章。	
	12. 5	文化講演会(講師:中村メイコ氏)	
2005 平成17年	2.14	雪害対策警戒部が設置される。積雪量104cm	
	2.25	農事法人ファーム院内岱設立。	

西暦 (年号)	月日	藤里町のできごと	秋田県の主な出来事と 藤里町の様子
2005 平成17年	3.25	有限会社白神農園ふじさと設立。	 ↑ ふじさと再生計画が 「第3回地域再生計画」に認定
	3.28	緑と魅力あふれる町・ふじさと再生計画が「第3回地域再生計画」に認定。	
	3.	粕毛交流センターが完成。(320.06㎡ 67,365千円)	
	4. 1	放課後児童健全育成事業「学童保育」が偕楽荘に移転。	
	4.29	小森正雄氏が旭日双光章、伊藤礼二氏、福司満氏が瑞宝双光章を受章。	 ↑ 粕毛交流センターが完成
	7.19	下水道事業一本化。「白神山地の清流を後世に伝える」ふじさと再生計画が認定。	
	7.	藤里中学校全運動部全県大会出場(野球・卓球・テニス・バレーボール)	
	10. 3	交通死亡事故ゼロ1, 500日達成。	
	10.28	白神山地食祭開催。	 ↑ 米田小学校創立130周年記念式典 児童が劇を披露
	10.30	藤里町立米田小学校創立130周年記念式典開催。	
	11.25	第11回白神山地寄席(出演者:柳家小三治、柳家二三)	
	12.28	雪害対策警戒部が設置される。 積雪量108cm	
2006 平成18年	1. 5	雪害対策本部が設置される。 積雪量127cm(最高142cm:2月8日)	 ↑ 藤里中学校創立50周年記念式典 白神讃歌を全校生徒で合唱
	1.	定時サイレンが電子チャイム化。	
	1.31	佐々木壽二氏が旭日単光章を受章。	
	2.28	二ツ井藤里地区行政組合が解散し、消防、救急は能代山本広域市町村圏組合として業務を開始。	
	2.28	二ツ井町・藤里町清掃センターが閉鎖。業務は能代山本広域市町村圏組合南部清掃工場へ。	
	6. 6	東日本鉄道文化財団地方文化事業支援贈呈式。藤琴豊作踊り振興協議会に藤琴豊作踊りの保存と伝承のため平成18年度～20年度(3ケ年)の事業支援を受ける。	
	6.29	「子ども110番の家」の旗を50戸に設置。	
	7.	全町で無人ヘリ防除を実施。	
	7.27	町の産業活性化に向け地域再生計画認定。	
	10.31	藤里町営温泉保養所営業停止。	
	10.31	桂田良子氏が共同募金運動60年記念特別表彰受賞。	
	11. 3	佐藤太五郎門氏が瑞宝単光章を受章。	
	11.12	藤里中学校創立50周年記念式典開催。	
	11.19	文化講演会(講師:西木正明氏)	

西暦 (年号)	月日	藤里町のできごと	秋田県の主な出来事と 藤里町の様子
2006 平成18年	11.22	秋田ふるさと手作りCM大賞で審査員特別賞を受賞。	秋田自動車道が二ツ井白神まで開通した。
2007 平成19年	2. 6	家族経営協定調印式第1号が行われる。	
	2.10	秋田わか杉国体冬季大会スキー競技会場で志茂若が踊りを披露。	 ↑ 秋田わか杉国体で志茂若が踊りを披露
	2.26	交通死亡事故ゼロ2, 000日達成。	
	3.	光ファイバによる高速ブロードバンドサービスを開始。	 ↑ ツーリズムの拠点森のえきがオープン
	3.31	米田保育園が閉園。(藤里幼稚園と統合)	
	5.16	出前ばんぶ〜ひろば開設。	 ↑ 金沢体育館が完成
	5.27	白神山地森のえきオープン。	
	6.21	白神ブランドの確立へ創業塾を開催。	 ↑ 交通死亡事故ゼロ2, 500日達成を表彰
	8. 3	日米学生会議の一行が藤里町にホームステイ。	
	8. 6	藤里町長に石岡錬一郎氏が就任。(4期目)	 ↑ 日独スポーツ少年団同時交流
	8.30	遺産センター前で秋田わか杉国体の山本地域採火式を開催。	
	9.6	第12回白神山地寄席 (出演者:三遊亭楽太郎、柳貴家小雪)	
	9.14	二ツ井消防署藤里分署に高規格救急車を配備。	
	11. 3	淡路忠雄氏が瑞宝単光章を受章。	
	11.17	荒川好徳氏が秋田県民俗芸能功労者表彰を受賞。	
	12.20	金沢体育館が完成。(240.14㎡ 29,610千円)	
2008 平成20年	3.20	創立132年の米田小学校閉校式。	
	4.	藤里町議長に藤原幸美氏が就任。	
	5.26	第1回藤里観光写真コンクール審査会開催。	
	6.	「ふるさと納税」開始。	
	6.27	全国植樹祭を記念して峨瀧の滝で記念植樹。	
	6.29	交通死亡事故ゼロ2, 500日達成。	
	7.25	第35回日独スポーツ少年団同時交流。	
	9.12	ファーム院内岱が県農林水産大賞を受賞。	
	11.	あきたふるさと手作りCM大賞で審査員特別賞(Iラブふるさと賞)を受賞。	
	11. 7	山田芳子氏が総務大臣表彰(統計功績者)を受賞。	
	11.13	二ツ井消防署藤里分署に新消防ポンプ自動車導入。	
	12. 3	秋田白神ガイド協会がエコツーリズム大賞特別賞を受賞。	

西暦 (年号)	月日	藤里町のできごと	秋田県の主な出来事と 藤里町の様子
2009 平成21年	4. 1	定額給付金を地元で消費するように「藤里町お買い得商品券」を発行。	秋田県知事に佐竹敬久氏が就任。 (H21.4)  ↑ 大沢会館「けやきの館」が完成  ↑ 福祉の拠点「こみっと」オープン  ↑ (株)アルビオン白神研究所が開所  ↑ 交通死亡事故ゼロ3,500日達成で表彰 東日本大震災が発生。東日本の広い地域に甚大な被害をもたらした。 (H23.3.11 震度7・M9.1)
	6.	藤里町史編さん委員会発足。	
	8.11	読売新聞創刊135周年記念「平成百景」に「白神山地」を選出。藤里町役場にて認定証贈呈式が行われる。	
	9.11	小林製薬株式会社からバイオトイレ寄贈。	
	10. 3	遺産センター来館者30万人達成。	
	11.11	交通死亡事故ゼロ3,000日達成。	
	11.15	藤里町芸術文化協会結成40周年記念式典開催。	
	12.12	大沢会館「けやきの館」竣工式。(299.91㎡ 46,872千円)	
	12.25	藤里粕毛中継局(地上デジタル放送)開局。	
2010 平成22年	1. 9	「冬の藤里ちよっと体験」モニターツアー開催。	
	1.19	第13回白神山地寄席(出演者:三遊亭楽太郎、三遊亭好の助、有紀天香)	
	3.	きり絵作家平野庄司氏がきり絵原画206点を町に寄贈。	
	3. 3	「くまげらの会」「観光案内所森のえき」が元気なふるさと秋田づくり顕彰受賞。	
	4.	広報「ふじさと」500号発行。	
	4.16	福祉の拠点「こみっと」オープン。	
	7.27	(株)アルビオン白神研究所が旧米田保育園で開所。	
	10. 2	「いのちの大切さを考えるフォーラム」開催。	
	11.	佐々木吉一氏、秋田県交通安全功労者秋田県知事表彰を受賞。 桂田良子氏、東北交通栄誉賞東北管区警察局長表彰を受賞。	
	11. 2	三世代交流館図書室の図書室システムを更新。	
	11. 3	石岡盛一氏が瑞宝単光章を受章。	
	11.11	文化講演会(講師:山本学氏)	
	11.22	海上自衛隊から藤里中学校に南極の氷が贈られる。	
	12. 9	福司満氏が秋田県芸術文化章を受賞。	
	12.26	米田会館「すばり」竣工式。(222.13㎡ 39,721千円)	
2011 平成23年	3.26	交通死亡事故ゼロ3,500日達成。	
	4.13	3.11東日本大震災による当町避難者へJAあきた白神農協よりあきたこまち贈呈。	

西暦 (年号)	月日	藤里町のできごと	秋田県の主な出来事と 藤里町の様子
2011 平成23年	4.27	市川正一郎氏が旭日単光章を受章。 淡路龍美氏が瑞宝単光章を受章。	 ↑ 藤里町役場第二庁舎が完成
	4.	野生動植物の種の保存のため藤里町野生動植物保護条例を制定。	
	6.	藤里町役場第二庁舎が完成。	
	8. 9	藤里町長に佐々木文明氏が就任。	
	9.25	「藤里町が元気になるフォーラム」開催。	
	10.14	藤里町役場窓口でパスポートの申請・発行が可能に。	
	12.14	総合開発センターにエレベーターを設置。	
2012 平成24年	1.	藤里町雪害対策本部を設置。(積雪量130cm)	 ↑ 開発センターにエレベーター設置
	1.29	第14回白神山地寄席(出演者:立川ぜん馬)	
	2. 1	山田二三氏が瑞宝単光章を受章。	
	2. 7	飲酒運転追放競争第2位となり優良市町村表彰。	
	4. 1	副町長に成田陽悦氏が就任。	
	4. 2	教育長に浅利美津子氏が就任。	
	4. 4	能代市山本広域市町村圏組合本部に救助工作車が配備される。	
	5. 1	淡路弘氏が瑞宝単光章を受章。	
	5.26	観光案内所・物産販売所を兼ねた「白神山地 森のえき」が新しくなってオープン。	
	6.12	藤里町と能代警察署との暴力団排除に関する合意書調印式が行われる。	
	7.	町制施行50周年記念事業実行委員会がスタート。	
	8. 7	交通死亡事故ゼロ4,000日達成。	
	10. 2	馬坂橋完成。(橋長63m 2億500万円)	
	10.19	森林基幹林道米代線(愛称:米代フォレストライン)が全線開通。(総延長約30km 171億円)	
	11.17	文化講演会(講師:橋本五郎氏)	
	11.25	あきたふるさと手作りCM大賞で優秀賞(秋田銀行賞)受賞。	
2013 平成25年	2.24	50周年記念事業プレイベント「ふじさとゆぎかましい」開催。	 ↑ 馬坂橋完成
	4.12	藤里町学校給食センター竣工。 斎藤守一氏が瑞宝単光章を受章。	
			 ↑ 米代フォレストラインが全線開通

西暦 (年号)	月日	藤里町のできごと	秋田県の主な出来事と 藤 里 町 の 様 子
2013 平成25年	5.26	白神山地世界遺産登録20周年記念事業オープニング セレモニーが白神山地世界遺産センター藤里館で行な われる。	
	6.21	50周年記念事業 「50周年キャンドルナイト～hug The earth～」開催。	
	7.16	藤里名誉町民第2号に前町長石岡錬一郎氏が推挙さ れる。	
	8.10 ～11	50周年記念事業「町フェスふじさと50祭」開催。	
	11.	「藤里町史」が発行される。	
こ れ か ら の 藤 里 町			
	11. 1	<u>藤里町町制施行記念日</u>	
	11. 2	町制施行50周年記念式典開催。	
	12.11	白神山地世界遺産登録20周年。	
2063年	11. 1	町制施行100周年を迎える。(予定)	

藤里町の概要

○町章



躍進藤里町のフをデフォルメし、平和と進展と向上の融和をはかり、雄飛のシンボルを表現したもの。
(昭和38年11月1日制定)

○面積 281.98 km²

○町のシンボル (昭和63年11月1日制定)

町の花…フジ 町の木…ブナ 町の鳥…クマゲラ

○町民憲章 (昭和53年9月12日制定)

こころ

わたくしたちは、町章や町民歌の意を心とし、自分も大きな輪の中のひとりであることを自覚して、より豊かな、明るい、住みよい、文化的な福祉の町をつくり、たゆまない発展をするために、次の町民憲章を守りましょう。

- 一、健康で楽しく仕事に励みましょう。
- 一、清く美しい郷土を愛し育てましょう。
- 一、生涯を通じ学習に励みましょう。
- 一、きまりを守りたがいに助けあいましょう。
- う ひらき
- 一、伝統を享けて創意を拓きましょう。

藤里町民歌

(昭和48年11月1日制定)

作詞 福満
作曲 石井

一、
朝日まぶしき藤駒の
山よ山よすこやかに
大地にゆるがぬ自信と誇り
風雪耐えて未来の夢を
築くみんばたくわが藤里
あすへはばたくわが藤里

二、
果てなく青い素波里湖の
空よ空よ美しい波
澄んだ瞳の輪が広がって
希望の歌声高らかに
結ぶみんばたくわが藤里
あすへはばたくわが藤里

三、
理想貫く建設の
若さ若さよたの
固い手と手が伝守り
自然とわれらの調和を保ち
伸び行くみんばたわが藤里
あすへはばたくわが藤里



町の木 ブナ



町の花 フジ



町の鳥 クマゲラ

【参考文献等】

藤里町誌（昭和50年8月発行）
 わたしたちの藤里町（小学校社会科副読本）
 写真集 藤里町（昭和58年発行）
 藤里町町勢要覧
 藤里町統計誌
 広報ふじさと

藤里町のあゆみ

発行日	平成25年11月1日
発行	藤里町
企画・編集	藤里町総務課企画財政係